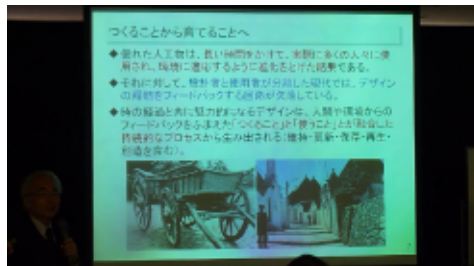


第8回 景観エリアマネジメント講座の様子



門内 輝行 氏（京都大学大学院教授）
「これからの京都における景観まちづくり総括
修徳学区を事例として」

高度な学問的理論と地道な実践。景観デザインと地域まちづくり。多彩に広がるテーマから、今日的な課題と展望を総合的に学びます。

荒川 晃嗣 氏（修徳まちづくり委員会 委員長）
「地域住民と景観まちづくりの関わり」

地域住民がどのように景観まちづくりと関わっていくのか。住民であり、かつ建築家としての専門性を兼ね備えたスキルで具体例を紐解きます。

ワークショップ

専門家として地域とどのように関わるか。課題と役割を整理、今後の活動のイメージを描きます。



懇親会

アカデミックかつリラックスした雰囲気です講師と受講生、スタッフが一体となり、明日への展望など本音トークです。

